

ふれあい情報

2022年 8月24日 (水) 第349号

■発行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

22年度 政策・制度要求に基づき

省庁、政党への要請を実施中

退職者連合は、定期総会で確認された「政策・制度要求」に基づき、省庁、政党への要請行動を継続しています。8月に入ってから、農水省、国民民主党、公明党、立憲民主党に対し、要請を行いました。

農林水産省 8/1

8月1日に行われた農水省への要請は、コロナ感染症の拡大を受けて参加者を絞り、退職者連合からは人見会長、柴山幹事ほか事務局2人が参加、農水省からは大臣官房政策課の石丸調査官、石崎



左から早川副事務局長、石丸調査官、人見会長、柴山幹事

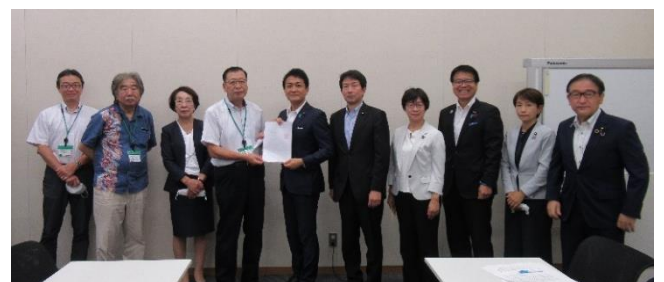
企画官が対応しました。

冒頭、人見会長は「ロシアの軍事侵攻に伴い、小麦の輸出が止まるなど食糧危機が起きている。現在37%しかない食料自給率の引上げ、安全な食料の提供は農水省の大きな課題だと思う。今後ともご努力いただきたい」とあいさつ。農水省からは、「ウクライナ問題の影響もあって、原油や肥料など生産資材の供給が逼迫し、価格の上昇も見られる。今回、『国内で作れるものはしっかり作っていく』ことの重要性があらためてはつきりしたと思う」「種苗法については、国内でも品種の改良などに取り組みとともに、法の運用についても現場の混乱をきたさないように進めているところ」などと回答がありました。

国民民主党 8/2

人見会長は「国の予算編成も始まっているが要求を共有し、一緒に取り組んでいただけるとありがたい。安倍氏の遺言のような形で防衛費を2%にするという話があるが、生活にかかわる予算の削減は許せない。国民民主党としても厳しくチェックしてほしい」とあいさつ。玉木代表からは「今一番大事なのは年金だと思う。物価上昇下のマイナス改定は初めて。物価スライドが発動するまでのギャップをどう乗り切るかが政治の重要な役割。低所得の年金生活者に対応すると同時に、安心して年を取れる環境をどう作るのか、骨太の議論をしていきたい」とのあいさつがありました。

早川副事務局長から、『社会保障財源の確保』『新型コロナウイルス感染症で顕在化した公衆衛生のあり方』『女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准、低所得高齢単身女性問題』などを軸に要請内容を説明。退連要求の中の、『性別役



要請書を玉木代表に手交する人見会長ほか退連事務局（左4人）
右から芳賀道也、西岡秀子、浜口誠、舟山康江、大塚耕平議員

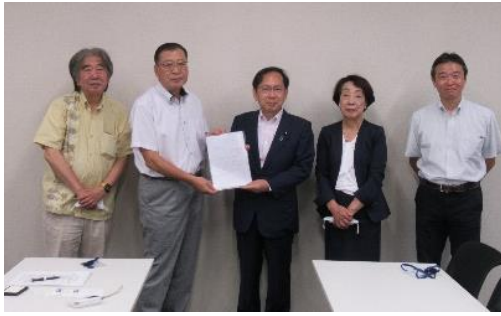
また舟山議員からも「現役の皆さんも、いまひとつ踏み切れない部分がある。自民党にも両論ある。今の少子化にも影響している」との指摘がありました。その後、非正規労働者の将来、子ども食堂、統一教会の問題など幅広く意見交換を行いました。

公明党

8/4

公明党への要請は、コロナ感染の影響で、予定を縮小して竹内政調会長が対応。退連も事務局4人での要請となりました。

冒頭、人見会長は「核兵器禁止条約の一刻も早い批准に向けてご尽力をいただきたい。また、防衛費増額が憲法論、財政論を抜きに進んでいくことを心配している。年金、医療、介護、子育ての財源確保が重要だと考えている」とあいさつ。竹内政調会長は「政策制度要求については、全体を通しわが党の考えとほとんど同じ方向です。選



竹内政調会長に要請書を手交

択的夫婦別姓もやるべき。働きのながらの子育ての支援が重要だと考えています」と応えました。

立憲民主党

8/23

早川副事務局長が制度政策要求の内容について説明。川端常任幹事から「医療介護の応能負担は保険料算定時とし、窓口負担は一律とすべき。社保審の議論の原点に戻るべき。介護保険の加入者拡大は事業主負担がネックだが、薄く広く長く負担すべきである」と補足説明があり、意見交換に入りました。

鬼木議員からは「地域保健法で保健所は感染症対策の役割を終えたとされたが、それは結核の話。新しい感染症に対しては無防備になってしまった」との発言があり、水野議員は「女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准はぜひ必要。フランスには専業主婦という言葉はない」と発言。野田事務局長が「労組幹部も専業主婦世帯が多く、そこはなかなか動かなかった



左から小沼巧、鬼木誠、水野素子、田島麻衣子参院議員、小宮山泰子企業団体交流委員長、右から川端常任幹事、草野、早川副事務局長、野田事務局長、人見会長

部分。条約批准の早期実現に向け、議会の意見書が増えるよう自治体に対しても要請を行っている」と応じました。遅れて参加された牧山ひろえ議員からは、投票機会の確保のためのインターネットの活用について、小宮山委員長からは、住宅セーフティネットの現状について情報提供がありました。

『30周年躍進レセプション』の記念品代相当額を 労福協「エール基金」に寄付させていただきました



労福協・南部事務局長に目録を贈呈

退連は、過日行われた「結成30周年躍進レセプション」の際の記念品代について、今回は労福協の「エール基金」に寄付することを決定していましたが、8月22日(月)、労福協・南部事務局長においていただき、人見会長から目録を贈呈しました。

「エール基金」は、2020年から始まったコロナ禍に対し、「①緊急生活支援 ②相談員・支援員への応援 ③就労・生活支援事業への支援」を目的として労福協が設立したものです。

基金の詳細は労福協のHPからご覧いただけます。

⇒ <https://www.rofuku.net/rofukuyell/overview/>